

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について（三菱重工業株式会社）

2. 日時：令和5年2月16日 17:00～17:30

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官※、櫻井安全審査官

（核燃料施設審査部門）

山後安全審査官

（システム安全研究部門）

後神主任技術研究調査官、福田技術研究調査官

三菱重工業株式会社：

原子力セグメント 機器設計部 主席プロジェクト統括 他6名※

5. 要旨

(1) 三菱重工業株式会社（以下「MHI」という。）から、本日の審査会合（第23回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において議論された以下の事項についての確認があった。原子力規制庁は、本日の審査会合での議論について申請書及び補足説明資料への反映を求めるとともに、引き続き確認を行うこととした。

○ 貯蔵緩衝体とキャスクの接続部の設工認申請者への引き継ぎ条件を申請書上明確にすること。また、貯蔵用緩衝体の必要な緩衝性能と想定事象との関係・考え方について、補足説明資料等に説明を記載すること。

○ MCNP5の適用妥当性については、使用済燃料輸送・貯蔵容器体系のベンチマーク解析で中性子遮蔽材のない領域も測定値と傾向がよい一致であることを確認していること等について、具体的なデータを用いてMCNP5による評価結果が妥当であることを説明し、補足説明資料等に記載すること。

(2) MHIより、了解した旨、回答があった。

6. その他

提出資料なし

以上